

## 春光台地区市民委員会防犯部（北海道）

私たちは、北海道旭川市の「春光台地区市民委員会防犯部」の小中谷と本村です。どうぞよろしくお願ひします。

私たちのまち、旭川市は北海道のほぼ中心部に位置し、人口約 32 万人を擁する北海道の第 2 の都市でございます。ここ札幌から約 150km、車で概ね 2 時間かかります。

旭川市は大雪山連峰に囲まれた盆地となっているため、寒暖差が大きく、夏は 30℃を超える猛暑日が続く、一方で冬は最低気温が -10℃を下回る日が連日続きます。過去には日本最低気温の -41℃を記録したこともある極寒の地でもあります。



私たちが活動する春光台地区は、旭川市中心部よりやや離れた丘の上に位置しています。全世帯約 4,000 世帯、人口約 8,000 人が暮らしており、23 の町内会と自治会で構成されています。なお、管内人口の 65 歳以上の高齢者は約 3,000 人と、住人の約 4 割を占めており、高齢化が進んでおります。

地区内には、学校や老人福祉施設のほか、キャンプ場、公園、有名な水芭蕉の群生地区がある、自然豊かで穏やかな住宅地となっております。写真左がメインのバス通り、右が地区で一番世帯数の多い、6 棟ある市営住宅です。

春光台地区市民委員会防犯部は、構成員 13 名によって、地域住民がさまざまな事件・事故に遭わないように長年活動しています。

防犯部の活動重点として、「見せて見守る防犯活動の推進」「各種犯罪の防止対策」「青少年非行防止活動の推進」を挙げています。他の防犯団体との交流や、市役所、警察などの行政機関とも協働した活動も行っております。写真は拠点としている地区センターです。



## 活動の紹介

### 防犯パトロール車両巡回中！



それでは、私たちの活動をご紹介します。

はじめに、青色防犯パトロールについてです。青パトによる活動は平成18年から始め、各町内会などから自主的、もしくは推薦を受けた13名で編成し、車両2台を運行しています。

パトロール時はふたり一組で、パトロール実施者証を携帯しています。服装は、一見して防犯活動実施者と分かるように、緑色ジャンパーにベストなどを着用しております。

活動エリアは管内全域です。学校や公園を中心に児童の下校時間帯に合わせてパトロールをしています。実施中の取扱いとして、4月の新1年生の下校時に、迷子の児童を見つけて学校に連絡したことがありました。さらに、夏休み期間中に実施している「愛のパトロール」の際、路上に倒れていた酔っ払いを発見、保護し、救急車を呼んで人命救助したこともあります。

### 青パト講習会の様子



まじめな皆さんです

写真は、青パト乗務員に対する講習会です。パトロール実施者は年に1回、警察官から講習を受けます。

本来であれば講習は3年に一度ですが、私たちの場合は全員で顔を合わせ、実施時の注意点の確認や情報共有を図るために、毎年行っています。

児童の下校時の見守りの様子です。見守りに当たっては、小・中学校とスケジュールを調整・確認して、下校時に2時間程度実施しています。

冬期間は積雪によって道路の見通しが悪いため、特に注意して声かけをするようにしています。そのほか、犯罪の連続発生や凶悪事件の発生、不審者の情報があれば、警察と連携して警戒をしています。

パトロール実施時に子どもたちから元気に挨拶されるのが、一番嬉しく思います。

【子供の笑顔・お年寄りの安心・安全を願い】

### 見せて見守る防犯活動



これも児童の見守り・街頭啓発の様子です。

左側の写真は、特殊詐欺被害を防ぐため、詐欺の啓発チラシを配って「おじいちゃん、おばあちゃんに渡してね。詐欺に遭わないように言ってね」と伝えているところです。人の話を聞かない頑固なおじいちゃんたちでも、孫の話ならちゃんと聞いてくれるはずなので、子どもたちをお願いしているのです。



ここ数年、私たちは、地区から特殊詐欺被害を出さないための活動に、特に力を入れています。



高齢者を対象とした防犯講習会の様子です。

写真はコロナ前に、警察官を招いて特殊詐欺の手口などについてお話ししていただいたときのものです。ここ数年はコロナ禍で、密を避けるために講習会は実施できていませんでした。しかし、その代わりに、警察や防犯協会と協力して作ったチラシを回覧板に入れるなどして、地区の皆様へ防犯情報を提供しています。

続きまして、お祭り会場における街頭啓発、パトロールが実施されている様子です。このお祭りは「春光台祭り」といって、8月に実施される地区の大きなお祭りです。各町内会の防犯部長と一緒に、少年に対する声かけや会場周辺の駐車車両の見回り、防犯指導など、「見せる活動」をしています。このようにさまざまな地域のイベントを利用して、地域とのつながりを図っています。



自転車の防犯診断は、お祭り会場や学校の駐輪場で行っています。実施するときは、自転車防犯診断カードという荷札を活用して、防犯登録の有無や鍵が掛かっているかを確認しています。

高校や高専の駐輪場では、先生立ち会いのもと、実施しています。学生は自転車に乗る機会が多いので、私たちから学校側に働きかけて始めました。学校からは、生徒たちにとって防犯の良い意識付けになるとして、大変感謝されています。

通学路の危険箇所の把握などの取組についてです。ご覧の写真は、現在、市役所に危険箇所として改善を申し入れている場所です。市営住宅の跡地であり、市が売却中ですが、買い手がなく数年放置されている状態なのです。空き地は管理されていないので、背丈の高いススキなどの草木が生えて見通しが悪く、街路灯は球切れ、付近には不審な車両が停まっていることもあります。跡地に面した道路は通学路であり、バス停もあります。不審者が隠れていて、子どもたちが何らかの被害に遭ったら大変です。



こうしたことから、以前から市に防犯部名で改善の申し入れをしてきたところ、本年、草刈りや、無断侵入などを注意喚起する立看板の設置、街路灯の球切れの修理が決定しました。ただ、これだけでは改善されたとはいえないので、今後も市と調整していくこととしています。

このように危険な箇所を把握して、「防犯マップ」と題した地図を作成し、学校に提供するなどして通学路の安全を守っています。今、ここに防犯マップを持ってきております。このようなものを作成して、学校に配っております。



先の危険箇所や地区内の人通りの多い場所に、のぼり旗を設置しています。

のぼり旗は、防犯協会や市から提供されたものです。防犯部総動員で春に設置し、降雪前に劣化防止のため撤去しています。

のぼり旗を設置管理するのも、結構大変な作業です。

児童・生徒との交流活動の様子です。

これは、ボランティア構成員の高齢化による人材不足の解消と、若い世代との交流、若い世代から親世代への防犯活動の参加と意識向上の伝達を目的とした活動で、昨年から学校側と打ち合わせして始めた活動になります。

写真に写っているのは、小・中学校の皆さんです。コロナ禍でも、マスクを着用して参加してくれました。



これは昨年10月のもので、公園の清掃活動と詐欺防止のために、高齢者のお宅訪問をしての啓発を行いました。清掃活動は冬直前のとても寒い日でしたが、児童・生徒の皆さんは、元気に手伝ってくれました。皆、ボランティア活動に熱心で、充実したものとなりました。若い世代の担い手は本当にありがたいものです。



これは私たちが主催する、防犯標語コンクールです。中学校の全生徒 300 人を対象として、夏休み期間に防犯標語を作成してもらいます。そして、できた標語から、私たち市民委員会、学校、警察、防犯協会が優秀作品を選んで表彰します。

写真は昨年の結果です。最優秀賞は、「電話での お金の話 詐欺かもよ」、「犯罪を させない雰囲気 街づくり」です。学生の発想や考えは素晴らしく、全ての作品が胸に響く、とても良いものばかりでした。

このコンクールは3年前から行っており、目的としては子どもたちに防犯に興味をもってもらうことと、そして作品を通して、大人たちにも防犯意識を持ってもらうことにあります。

画面のように作品集をポスターにして、公民館、学校、コンビニや病院など人が集まる場所に掲示しています。ポスターを作成するにあたって、今は昔と違って個人情報保護の時代ですから、私のほうで学校や保護者に許可を取りました。

これらの作品は新聞報道もされました。この試みは学校や地域住民からも好評で、今後も続けていくつもりです。

コンクールの優秀作品を作成した生徒に対して、感謝状を贈呈しています。感謝状は、地区の防犯協会長と地元警察署長、春光台地区市民委員会長の連名です。写真は学校の校長室で、防犯協会長から賞状を渡している様子です。



今年1月、北海道警察旭川方面本部から日頃の活動が評価され、春光台地区内の若草町内会が、旭川市で初めての「特殊詐欺被害防止モデル地区」に指定されました。モデル地区として、詐欺防止の広報活動や詐欺電話を受けないための「迷惑電話防止機能付き電話機」の普及に向けて、特に力を入れて活動しています。写真は、指定式の様子です。前に座っている右側の方が旭川方面本部長、その隣が防犯に熱心な町内会長であります。警察の本部長室に招かれ、とても緊張したのを覚えています。

この様子は新聞や、市の広報紙で紹介され、春光台地区をはじめ旭川市民に、私たちの活動をアピールすることができました。アピールと言いましたが目立ちたいわけではなく、た

くさんの人に特殊詐欺の魔の手が迫っていること、そのために地域で対策しなければならないことを私たちの活動によって知ってもらい、旭川市から詐欺がなくなればと思つてのことです。

長時間にわたって、活動を紹介させていただきました。これが私たちの主な活動となります。私たちなりに、地域の子どもや高齢者の安全・安心の為に防犯活動を行っています。まだまだやってみたいこと、やらなければならないことがあります。しかしながら、私たちの地区の現状であります。構成員がほぼ高齢者であること、仕事を持っている方などおいて、全員がそろつての活動ができないのです。これを解消するためお互いがカバーしつつ、紹介した活動を通じて積極的に取り組んでいます。ここ数年は新型コロナのため密を避けましたが、これからは地区内の関係はより密にして活動を継続しつつ、さまざまな課題の解決に向けて、地域ぐるみで活動していきたいと考えております。

最後に、旭川市には全国的に有名な旭山動物園、旭川ラーメンがあります。ぜひ、安全で安心な旭川へお越しください。

ご清聴ありがとうございました。



## 講 評

**荒井** ご発表ありがとうございました。とても多様な活動されていて、素晴らしいと思いました。お伺いしたいのですが、子どもを介して特殊詐欺の予防をする取組、高齢者に「危ないよ」と伝えてあげるのだと思うのですが、これは自分たちで考えた取組なのでしょうか。

**発表者** そうです。やはり、高齢者は防犯意識が希薄といいますか、そうしたものがあつて、講習会をいくらやっても聞いてもらえない。そこで、子どもたちが、親なり、おじいちゃん、おばあちゃんなりに話をする。子どもから大人、年寄りに防犯の重要性を伝えてもらうことで、全体の防犯意識の高揚に努めたい。このようなことから考えました。

**荒井** ありがとうございます。今日は、いろいろな活動をされている団体さんがいると思うので、お伝えしたいと思います。この考え方はすごく大切です。例えば警察だったり、僕ら大学教員だったりがお話ししても、なかなか聞いてもらえないのです。しかし、子どもから高齢者に言うと、なぜか聞いてもらえるのです。それをうまく、おそらく体験的に考えたのだらうと思ひ、とても良い取組だと思ひました。ぜひ、続けていただければと思ひます。

それからもう1点、危険な場所、空き地があるということで、先ほどスライドに出していただきました。危険なことには変わりはないのですが、まず第一に市の人に草刈りを、ぜひ、してもらってください。草刈りがたぶん、一番重要です。視界が悪いと、小学生などは草に

埋もれてしまいます。そこに連れ込まれたら、おそらく周りからは見えない。ですから、まず、定期的に草刈りをしてくれと、お伝えするとよいのではないかと思います。

**発表者** それについても市と協議しまして、今はまだ草が低いのですが、夏休み期間に入る前に実施してもらおうようにしました。ただ、予算の問題があります。かなり広いところで、旧住宅地ですから、縦に5、6本の道路が入っているのです。そこは舗装されております。ですから、そこに何か工作物を置いて、車が侵入できないようにしていただけないかと話をしています。しかし、ここは名目上市道になっているため、そうしたことはできないとのことでした。それでは、草刈りを全部お願いできませんかという、今度は予算面で、できないということでした。結果的には、この2区間を草刈りすることになりました。「それでは残りをどうしよう」ということで、私ども地区市民委員会で協議し、ボランティア約10名が草刈りを手伝ってくれることが決まりました。来月7月に、残りの場所も全部草刈りをすることに決定しております。

あとは街路灯の問題ですが、これも市で調べまして、8月に業者入札して、全部直すことに決定いたしました。それで今、進行中でございます。

**荒井** ありがとうございます。街路灯は明るいほうが良いですし、草刈りは、目安としては小学生が隠れない位置までと考えていただくとよいと思います。ですから、夏前と秋口ぐらいに2回は刈らないと隠れてしまうかもしれません。ただ、ボランティア団体の方は大変だと思います。ぜひ、市にも協力いただいて、子どもたちの安全のために、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

## 浜田ニュータウン町会防犯パトロール隊（青森）

青森市浜田ニュータウン町会の加藤です。

同じく三上と申します。どうぞよろしくお願  
いたします。

私どもの町会は、名前がニュータウンというだ  
けありまして、町が開けてから 25 年しか経って  
いません。最初は、住宅は 100 軒ぐらいでしたが、  
今は 800 軒を超えるぐらいの大きな町になりまし

た。浜田ニュータウン町会防犯パトロール隊というの  
は、町会の中の、1 つの組織でございます。  
町会活動の一環として活動しておりますので、その  
辺をわきまえて、お話をしたいと思います。



**自分たちの街は自分たちで守る！**

浜田ニュータウン町会防犯パトロール隊  
(青森県)

初めに、活動地域につきまして説明させてい  
だきます。私ども浜田ニュータウン町会防犯パ  
トロール隊は、青森県青森市で活動しております。  
青森市は青森県の県庁所在地で、青森のねぶた祭  
りや世界遺産の三内丸山につながっており、大変  
賑やかな町になりつつあります。

真ん中にある写真は、青森ねぶた祭りです。毎  
年 8 月 3 日から 8 月 7 日までの 5 日間、開催されて  
おります。青森のねぶたは皆さんもご存じか  
と思いますが、今、全国的に評判をいただいている  
祭りでございます。たまには海外からもリ  
クエストがあるようでございます。ぜひ一度、  
青森見学に来ていただきたいと思っております。

私どもは、青森市の浜田という地区の周辺で活  
動しております。活動地域は、商業地域と住宅  
地域が混在しており、住宅地のすぐ近くに複数  
の大型ショッピングセンターや、大型量販店、飲  
食店などがございます。

活動地域内には小学校が 2 校、中学校が 2 校、  
高校が 2 校あります。青森山田高校という名前を、

皆さんは聞いたことがあるかと思えます。サッカー  
では、何度も全国優勝しており、それを目指  
して各地から生徒さんがたくさん集まってきて  
おります。今在籍しているのが 1,300 名だそう  
でございます。海外からの留学生も、かなり、  
おります。

青森山田高校を目指して青森市内の中学校、小  
学校の生徒さんも、毎日のようにサッカーの  
練習場へ通ってきております。市内の人だけ  
ではなく、全国から生徒さんが集まってくる  
ので大変でした。いろいろな、事件までは  
行きませんが、犯罪



等も発生している町でございます。このような地域ですから、軽犯罪は青森市内の中では非常に多いようでございます。それを少しでも防ごうと思い、防犯活動をしております。

### 団体概要

- 平成21年設立
- 会員数24人  
(令和5年4月末現在)



次に団体の概要を申し上げます。私どもの団体は平成21年に設立し、今年で14年目になります。今年4月現在で隊員は24名です。全て町会の会員さんです。会員さん以外は一人もおりません。設置したパトロール隊で町内を巡回するなど、いろいろな事業をしております。そのための活動費は、町内会の会費から捻出しておりますが、ほ

ぼ100%、ボランティア活動でございます。

活動は町内の中だけでなく、他の地域でもときどき見回りをしております。特に小学校の児童を守ることに主力を置いています。ただ、市内全域の学校を巡回するのは大変なので、近場の小学校を主に巡回しております。特に、下校時間に巡回しております。1日に2校、または3校を目安にして、回っております。

防犯パトロール隊の設置は、平成20年に、あるショッピングセンターで、強盗事件が発生したことがきっかけです。私どもの団体の設立も、その強盗事件が契機となりました。そのときから「自分たちの町は自分たちで守ろう」という機運が高まり、団体の設置に至りました。青森市内で、企業や団体パトロール隊を組織しているところがありますが、町内会単独でパトロール隊を設置しているところは、私どもの町会だけでございます。しかも、青色回転灯装備車両を使用してパトロールを実施しているのは、私どもの団体だけでございます。

### 団体設立の経緯

町内会にあるショッピングセンターで

**強盗事件**

が発生したことを経緯に設立。



### 活動内容

### 防犯パトロール

- 夜間のパトロール (毎週金曜日午後6時~午後8時)
- 日中のパトロール (毎日午後2時~午後4時)
- 窃盗事件や声かけ事案の現場周辺パトロール (事案発生時)



次に、活動内容をご報告申し上げます。定期パトロールと不定期パトロールの両方をしております。夜間のパトロールは、毎週金曜日、夜の6時から8時まで。これには青パトを使っています。不定期は時間のある方に出てください、声かけ運動や、小学生たちに手を振るなどして歓迎されております。

まず、防犯パトロールについて説明させていただきます。私どもの団体は、毎週金曜日の午後6時頃から概ね2時間ぐらい、日本財団から支援いただいた青色回転灯装備車両と、徒歩の2組に別れてパトロールをしております。実は24人を4つの班に分けて、月に1回はぜひ参加していただきたいとお願いしております。月に1回ですから、ほとんどの方が参加してくれます。

また、夜間だけでなく子どもたちの下校時に合わせて、毎日午後2時頃から4時頃まで概ね2時間ぐらい、青パトや徒歩で巡回したり、指導したりしております。

その他にも、窃盗事件や子どもに対する声かけ事案が発生した際、警察から情報提供を受け、学校からの要請も受け、現場へパトロールに出向くこともございます。



通学路の通学の見守り活動もしております。これは朝早く、7時頃から始まりますが、なかなか大変でございまして、PTAのお母さん方にもご協力をいただいて実施しております。下校時は、ほとんど私どもの隊員さんで、指導巡回をしております。

次に、ながら見守り活動でございます。散歩をしたり、ワンちゃんを連れて歩いている方たちにも、子どもたちに会ったらできるだけ声かけをしていただきたいと、お願いしております。「警察からも協力を依頼されているのでお願いします」と言うと、皆さん、割と協力していただけます。また、ジョギングをしている人たちも結構見受けられますので、その人たちにもお願いしております。



次に清掃活動です。私どもの町会では、春と秋に一斉に150人ぐらいずつ出て、清掃活動をいたします。清掃活動は町内会の会員とともに、不定期でも実施していますが、年2回は大規模に行います。また、エリアの中学校の生徒さんたちが授業の一環として奉仕活動をするということで、私どもの町会でも協賛し、一緒にゴミ拾いをしております。

写真の右側がそうです。左側は一斉清掃のときのものでございます。

特にお知らせしたいのは、パトロール隊の中で、冬期は休みますが雪解けが始まってから、毎朝ゴミ拾いをしてくれる人がいらっしゃいます。その人と、先ほど申し上げた青森山田高校さんの先生が2人、毎朝、一緒にゴミ拾いをしてくれます。ときどき、野球部の選手やサッカー部の選手も多数参加して、朝早くからやってくれます。非常に助かっております。ですから清掃のときに、ゴミが落ちていないことがあります。ゴミ袋を渡しても、少ししか入っていないという状

態が続きます。青森山田高校さんは「地域があるから私どもの学校があるのです」と、いつもおっしゃいます。お互いに、協力しながら頑張っています。

また、私どもでは交通安全パレードを行います。そのときにも青森山田高校さんの吹奏楽部が参加してくださいます。青森山田高校さんの吹奏楽部は、青森県で一番なのです。いつも金賞いただく学校です。その学校の生徒さんが先頭を切ってパレードに参加していただき、住民からも非常に好評でございます。今年も7月8日に合同でやるのが、昨日決定したばかりでございます。

広報活動です。これは私どものパトロール隊が青森警察署から依頼されて、ショッピングセンターで犯罪防止などのPR活動をするものです。今年も6月25日に「無事故の日」ということで、青森市の生活安全課と一緒に私どもの町会で、パレードとまで行きませんが、そのような行事をしてPRすることになっております。そのときに青森市の市長さんも来て、一緒に行くことに決定しています。私どもは常に市や警察署と連携を取りながら、物事を進めております。



## 課 題

## 隊員の高齢化と人員確保

次に、私どもの団体が抱えている課題です。他の団体もそうだと思いますが、隊員の高齢化と人員の確保が深刻な問題です。現在、ほとんどの隊員が60歳以上であります。後継者の確保が急務ですが、先ほどの北海道の方もおっしゃっていた通り、共働きや、夜遅くまで仕事をしている人たちが多く、なかなか大変です。定年退職したらぜひ、ボランティアに参加していただきたいと、常々、回覧板で回したり、機会があるごとに町会の案内状に書いたりしていますが、まず応募してくれる人がございません。

しかし幸いにも、今年は40歳代の方が一人、参加してくれました。大変助かっております。その人は、非常に親しくしている近所の人をお願いされて、参加してくれたそうです。声かけです。チラシを撒くよりも、私どもが声をかけるよりも、親しい友達が声をかけることにより参加していただける。これをもっともっと拡大していきたいと思っております。

課題の解決に向けて、今お話ししたことと関連しますが、私どもの隊員さん、それから町会の役員さんに、「隣の人に、ボランティアに参加していただくようにお声がけをしていただけませんか」とお願いしております。

また、青森市ではタウンミーティングを、市長さんの主催で毎年行っております。その席で市長さんに、「市役所の職員さん、退職したOBさんに声をかけていただけませんか」とお願いしております。しかし、今まで1つも成功したことがありません。今、ボランティアで活躍している人は、ほとんど事業をしている人や商売している人、そうした職業を終えた方がほとんどでございます。隣におります三上のように、自衛官を卒業して一生懸命やってくれる人もいます。しかし、大変失礼ですが、概して公務員の方は、あまり参加してくれないのです。これを何とかしたいと思っております。良い方法がありましたら、教えていただきたいと思っております。

次に、三上からお話しいたします。

私は今年、79歳になります。しかしながら、隊長は89歳。町会長自らが、パトロール隊長です。こんな素晴らしい隊長を持ったら、我々も協力しなければなりません。これから、まだまだやらなければいけない。隊長がこうですから、我々が「年を取ったから辞める」というわけにはいきません。

それでは私からは、シフト制の導入について説明いたします。先ほど町会長から、隊員が24名という紹介がありました。我々はこれを4つのグループに分けて編成しております。ですから、1グループ6名です。

先ほどお話ししたパトロールの自動車は、コロナの前は4人でもよかったのですが、コロナになってからは密閉したらいけませんので最大3人、通常は2名で運用しております。夜間パトロールでは、町内を重点的に行います。速度は10km/hから15km/h、スピーカーで交通の注意等を流しながら、ゆっくりと町内を回ります。ほかの3人から4人は徒歩で、量販店のゲームコーナー、ATM、そして大型ショッピングセンターの中を回って帰ります。これを毎月金曜日に行います。

日中のパトロールでは、小学校2校、中学校2校、高校2校を全て回ります。公道ですから、交通量が多いと止めて、他の車を行かせてからゆっくりと、20km/hから30km/hで学校周辺を回ります。特に午後2時半頃は、小学生が下校する時間です。小学生がランドセルを背負って家へ帰ります。すると我々がパトロール車から手を振って声かけをします。すると子どもたちもニコニコしてくれます。時には夢中になって手を振って、電柱に頭をぶつけてしまう子もいました。



## 課題解決に向けた取組



## シフト制の導入

中学や高校は、その時間は子どもは外にいないので、学校の周りを。中央高校は俳優で有名ですね。そして小学校に行きます。こうしてほしい1時間半から2時間ほど回っております。

この活動はシフトを組んで行います。月に2回か3回、日付と時間をあらかじめ伝えて行うので、それほど負担はありません。ただし、先ほども申し上げたとおり、警察や学校から情報が来たときには、緊急のパトロールをします。

また、学校のお休み、春休み、夏休みなどは、学校の周囲には行きません。青森市内を広範囲に回ります。スピーカーを使い、普通の速度で回ります。

車でのパトロールが一番気をつけることは、自分たちが交通違反をしないことです。停止するところでは必ず止まります。皆が見ていますから。それを心がけております。



次は、積極的な交流についてです。先ほど、町会長さんも言いましたが、7月8日のパレードは、地区の防犯協会、交通安全協会、交通対策協議会等で、合同で行う交通安全のパレードです。青森山田高校吹奏楽部さんを先頭に、300人ぐらいで行います。

防犯活動としては警察からの依頼で、毎月、交番の防犯広報をしております。それを回覧板で回して、町内の人と情報共有しております。

もう1つ。青パトの回転灯を回して、注意喚起をスピーカーから流して、交通違反をしないように最大限注意して、町の人に見える形で、車で回っております。

終わりに。

私どもの町会には、町会を設立した当初からのスローガンがあります。「誰もが住んでみたい町を作ろう」、そして住んだ人には「住んで良かったと言われる町を作ろう」。常にそれを目標にして頑張っております。

今、警察署さんと共同で、アプリを使った積極的情報の収集や、パトロール隊からの発信をしています。



これからも、自分たちの町は自分たちで守るという気持ちで、活動をするつもりです。住んで良かったと言われる町、安心して住める町を作りたいと思っています。それをご報告して、終わりにしたいと思います。ありがとうございます。



## 講 評

**荒井** とても丁寧な活動のご説明、ありがとうございます。非常によく分かりました。伺っていて、一番特徴的だと思ったのは、青森山田高校との連携があり、とても良い関係であることです。ただ、高校もそうですが、代替わりをしてその先生がいなくなってしまうと、うまくコラボレーションできなくなることもあります。それでは困るので、ずっと続けられるようにぜひ、関係を継続していただけるとよいと思いました。

**発表者** そうですね。そのつもりでおります。

**荒井** 可能であれば、防犯団体の側から依頼するのはなかなか難しいかもしれませんが、高校の若い子たちは力が有り余っています。「一緒にパトロールしてみないか」「ジョギングがてら行こうか」というようなことができると、もう一段階、上に行けるのではないかという気がしました。特に、青森山田高校はサッカーが非常に強いので、走り回っている人はたくさんいます。

**発表者** うちのすぐ裏がサッカーのグラウンドです。とても賑やかで、若い「気」をいただいています。私はあと半年で90歳になります。まだこうして元気でいられるのは、生徒さんの元気をいただいているからだと思っています。

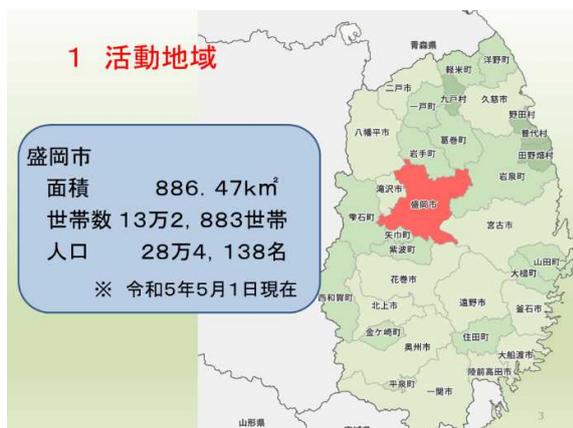
**荒井** それに関連して。お二人とも89歳と79歳で、すごく元気でいらっしゃいます。それを売りにして、「パトロールという名の散歩をして健康になろう」といった勧誘の仕方があってもよいのではないのでしょうか。「防犯活動」というとハードルが高いのですが、「健康のために運動しましょう」と勧誘すると、皆さん、健康には気を遣うので、意外と参加してくれる人がいるかもしれません。今、お話を伺っていて思ったので、付け加えさせていただきました。ありがとうございました。

# 地縁団体法人北山自治会（岩手県）

岩手県盛岡市の地縁団体法人北山自治会、防犯担当の佐々木と申します。よろしくお願いいたします。



こちらに「防犯パトロールで安全・安心なまちづくり」とあります。自治会の役員、子ども会の父兄さん方、子どもたちが参加しての、防犯パトロールです。盛岡市は岩手県の県庁所在地で、県の中央部に位置しています。



盛岡市は5月1日現在、面積は886.4平方キロメートル、世帯数が13万2,883世帯、人口が28万4,138名です。

私たちは、仁王小学校と連携して活動しています。仁王小学校は、岩手県庁から北西の方向にあります。

私たちが活動する地域は、この地図では分かりにくいのですが、国道4号線、盛岡バイパスがここにあり、このあたりです。あとでもう少し詳しい地図を出します。

仁王小学校がここにあります。ここから500mぐらい行ったところに、下名須川町踏切があります。このあたりが活動の中心です。それから国道4号線の盛岡バイパス、そしてこのトンネルの先が県道455号線となっています。

ここは、朝晩のラッシュ時にはかなり混雑しています。また、下名須川町踏切の先には大型スーパーマーケットがあり、県立中央病院もありますので、かなりの人が出入りします。



## 2 団体の概要

発 足：平成25年10月24日(法人格取得日)

会 員：合計 1,159名  
(北山一丁目608名、北山二丁目555名)

役 員：32名 (男性16名、女性16名)  
平均年齢 約70歳

## ☆ 法人格取得までの歩み ☆

活動拠点である公民館の年間借地コストや老朽化の問題



地域住民の厚意により、公民館の用地取得条件が整う



平成25年8月 臨時総会により法人格申請を議決



平成25年10月 認可地縁団体法人格取得

団体の概要を説明します。地縁団体法人北山自治会は、平成25年に法人格を取得した組織です。会員は町内に居住する1,159名の住民です。役員は32名、平均年齢は約70歳。ちなみに私も、今月70歳になります。会長は81歳です。

法人格取得までの歩みです。法人格取得以前にも、北山自治会として防犯パトロールや子どもの見守り活動を行っていました。しかし、活動拠点としていた旧公民館は老朽化が進み、かつ急勾配の坂の上に建築されていたため、高齢者にとって活動参加の妨げになっていました。また、公民館が建設されていた土地は借地で、年間コストが発生するという問題もありました。

自治会で新しい公民館の在り方を協議した結果、土地を保有していた地域住民の献身的なご厚意を賜り、用地取得の目処が立ったため、平成25年8月の臨時総会で法人格取得を議決いたしました。そして、10月に盛岡市に地縁団体法人の申請を行い、取得いたしました。

自治会長を中心として、スクールガードの活動活発化に向け、仁王小学校 PTA や交通安全指導員、子ども会役員などと情報共有を図り、組織を超えた横断的な連携体制を構築しました。

また、盛岡市からの補助金に加え、仁王小学校教育振興会と連携して町内会から協力をいただいた予算を活用し、活動に必要なベスト、腕章、たすきなどの資機材を整備しました。

発足した当時はこのようにしていましたが、現在は盛岡市から、ベスト、腕章、たすきの現物支給を受けております。また、防犯パトロール活動に参加する自治会役員は、全員、ボランティア保険に入っております。

### スクールガードの活動活発化へ

- ① スクールガードの活動活発化に向けた連携  
(自治会役員、仁王小PTA、交通安全指導員等)
- ② 課題の解決 (予算の確保)

◎ 装備品(ベスト、腕章、たすき)の購入

⇒ 盛岡市からの補助金活用  
⇒ 仁王小学校教育振興会(民生委員、学校PTA、児童館等で編成される組織)と連携し、町内会を通じて予算を確保

◎ 傷害保険への加入

⇒ 役員全員分を自治会予算から支出

### 3 活動内容

#### (1) 登下校時の見守り活動

ア 仁王小学校付近の下名須川町踏切における見守り活動

自治会役員が仁王小学校PTAと連携し、踏切を横断する児童を見守る活動

イ 北山トンネル出口付近の交差点見守り活動

横断歩道、交差点、幹線道路等の交通上の危険箇所も併せた見守り活動

～ 下名須川町踏切における見守り活動の様子 ～



登下校時の見守り活動は、仁王小学校付近の「下名須川町踏切における見守り活動」と「北山トンネル出口付近の交差点における見守り活動」の2つです。

こちらが下名須川町踏切における活動の様子です。見えづらいですが、雪の下から、少し見えている赤い部分が歩道で、ずっと続いています。踏切から 10m ぐらいのところには防犯カメラを設置していますが、これは子どもたちの見守り活動と、犯罪抑止を兼ねております。

～ 北山トンネル出口付近の状況 ～



～ 北山トンネル出口付近の交差点における見守り活動の様子 ～



国道 4 号線、そして県道 455 号線の交差点においては、かなりの通行量があります。これが交差点での見守り活動の様子です。

## (2) 仁王小学校PTAとの連携

### ア スクールガードパトロールの年間活動計画の共有

仁王小学校PTAのスクールガードパトロールの年間活動計画を共有し、自治会役員と連携した子どもの見守り活動を展開

⇒ **スクールガードの方と自治会役員、児童とのコミュニケーションの機会**

- ・ スクールガードは、自治会役員と顔の見える関係の醸成
- ・ 児童は、見守り活動の充実による安心感の充足

13

## イ コミュニティ・スクールへの参画

自治会の代表が、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の委員長であるため、児童の安全確保対策等について、小学校からの依頼に基づき、防犯や交通安全対策の講演を実施している



コミュニティ・スクールを通じて、学校、保護者、関係機関、地域住民に対する

- ・ 北山自治会及び連携団体の活動の周知
- ・ 児童の見守り及び防犯意識の醸成

が期待できる

14

仁王小学校PTAと、スクールガードパトロールの年間活動計画を共有し、自治会役員と連携した子どもの見守り活動を展開しております。これは、スクールガードの方と自治会役員、児童とのコミュニケーションの機会を増やし、顔の見える関係を醸成することを目的としています。

また、当自治会の相馬会長は、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の委員長です。そのため、小学校からの依頼に基づいて、児童の安全確保対策等に関する講演を実施するなど、地域と学校の橋渡し役を担っております。このコミュニティ・スクールへの参画を通じて、学校、保護者、関係機関、地域住民に対する北山自治会及び連携団体の活動の理解や、児童の見守り及び防犯意識の醸成が期待できます。

見守り活動としては、「ながら見守り」も行っています。これは、自治会の広報誌で会員に対し、「下校時間帯に下名須川町踏切付近のスーパーに買い物に行く際には、可能であれば見守り活動で着用するベストの着用を」と依頼しているものです。ただ、今の段階では自治会のみで実施しています。一般の参加者にお願いすると、ベストが1,000枚以上必要になります。そのため、今のところは役員だけが行っています。

## (3) 「ながら見守り」の実践と啓発活動

自治会広報誌で会員に対し、下校時間帯に下名須川町踏切付近のスーパーに買い物に行く際には、  
見守り活動用ベストの着用を依頼  
することにより、ながら見守りを実践。

日常生活の中で、無理なく「ながら見守り」の姿を見せることで、地域一丸となった防犯効果を期待！

15

## (4) 寺子屋(宿題しよう会)の開催

- ・ 仁王地区福祉推進協議会の懇談会において、仁王地区に多く存在する寺院の効果的活用の検討が発端
- ・ 夏休み、冬休みの各1回、年間2回の開催
- ・ 会場は、仁王地区の3寺院が毎年持ち回り
- ・ 対象は、地域の小学生
- ・ 講師は、高校生ボランティア

16

## ～ 寺子屋(宿題しよう会)の開催の様子 ～



寺子屋「宿題しよう会」の開催。これは北山自治会ではなく、仁王地区福祉推進協議会においてですが、そこで何をするか、いろいろと検討したようです。北山地区、そして隣の名須川町には、お寺さんがたくさんあります。その効果的活用を検討し、皆さんが答えとして出したのが「宿題しよう会」です。私たちの会長、そして民生委員など、推進協議会に入っている方が出てきています。16町内会が入っています。対象は地域の小学生。講師は高校生のボランティアです。これが活動の様子です。

#### 4 活動頻度

小学校の全登校日  
= 年間約200日

18

#### ☆ 活動の成果 ☆

- ・ 児童が絡む重傷事故の発生はない
- ・ 児童と地域住民の交流促進
- ・ 児童の挨拶態度の向上

19

活動の成果です。登下校時間帯において、児童が関係する重傷事故の発生はありません。また、活動を通じ、児童と地域住民の「顔の見える関係」が構築されました。児童の挨拶運動も向上しています。

#### 5 課題

##### (1) メンバーの高齢化

- ・ 北山自治会役員の平均年齢70歳

##### (2) ボランティア活動従事者の減少

- ・ 定年延長の社会的情勢により、そもそも、定年退職者が少なく、新規加入メンバーが少ない

20

課題としては、先ほどの団体もお話しになっていましたが、当自治会もやはり、メンバーの高齢化が挙げられます。また、ボランティア活動従事者の減少も課題です。

今の時代がこのようなになっているからかもしれないませんが、定年延長の問題もあります。今、定年が60歳から65歳、行く行くは70歳ぐらいになるのではと考えられているようです。そのため、どうしても若い人たちが入ってこられない状況です。

課題の解決に向けた取組としては、コミュニティ・スクール等との連携強化が挙げられます。コミュニティ・スクールへの参画や、北山自治会成年部等の連携の機会を通じて北山自治会の活動の重要性を浸透させ、次世代を担うメンバーを発掘します。

#### 6 課題の解決に向けた取組方策

##### (1) コミュニティ・スクール等との連携強化

コミュニティ・スクールへの参画や北山自治会成年部等との連携の機会を通じて、北山自治会の活動の重要性を浸透させ、次世代を担うメンバーを募集

21

## (2) サマーフェスティバルの開催

地域住民を招待したイベントとして、屋台や飲食ブースを設けたサマーフェスティバルを開催しているが、その会場で、北山自治会の取組を紹介するなど、新メンバーを積極的にリクルートしている

22



サマーフェスティバルについてはコロナ禍のため、ここ2、3年は行っていませんでした。しかし、今年はこれを復活させようと考えています。これは自治会が主体となっておりますが、成年部の方々、子ども会の方々の協力も得ております。老人クラブも入りますので、ここで、若い人と年の行った方たちの交流が盛んになってくるのではないかと、私たちも期待しております。

これはコロナ前のサマーフェスティバルの様子です。盛岡市に地ビール会社があり、その敷地を借用して実施しています。ビールも、かなり安い価格で出しています。皆さんも参加していただけるのであれば、盛岡にいらしてください。だいたい、7月の末頃を予定しております。ご清聴ありがとうございました。



## 講 評

**荒井** ご説明ありがとうございました。最後のイベントは楽しそうで良いですね。ぜひ、継続していただけるとよいと思います。

もう1点、防犯と合わせて、交通安全もやはり、非常に重要なことです。今、ポイントを絞って、「ここ」と「ここ」というように実施されています。やはり、的を絞ってやらなければ。全部の場所で行うのはなかなか難しいので、非常に良い取組だと思いました。冬になるとやはり、寒いですし、雪が積もって見通しが悪くなるとますます危ないので、ぜひ、活動を続けていただくと良いと思いました。

それから、1点、質問です。ご発表の中で、スクールガードさんというものが出てきました。スクールガードさんとは、どのような人たちなのでしょう。

**発表者** 仁王地区 16 町内と先ほど申し上げましたが、そこで仁王小学校地区教育振興会というものを作っています。そこで一斉活動日を決めて、皆で子どもたちの登下校を見守ります。朝は挨拶運動。放課後はスクールガードという形で活動しております。これは、北山自治会だけではありません。教育振興会に属している 16 町内が一斉に行います。

**荒井** 自治会さんとはまた別の団体かと思いましたが、違うのですね。北山自治会さんを含めた 16 自治会で、スクールガードを作っているのですね。

**発表者** 先ほど言いましたコミュニティ・スクールの会長を、私がしているので、いろいろな地区にお願いしています。私は前に教育振興会、あるいは若いときには仁王地区福祉推進会の事務局長もしていましたので、いろいろな 16 町内の協力を得ながらやっております。

**荒井** なるほど、分かりました。活動は 1 つの団体で完結する必要はなく、他の団体と連携できると効率的です。その意味で、スクールガードさんの組織は自治会を越えてつながっているので、非常に効果的だと思いました。ありがとうございました。

**発表者** ありがとうございます。交通関係なのですが、盛岡市の交通安全協会の北山分会がごぞいます。実は私たちも入っております。そちらも含めて、のぼりを立てるなどしています。春と秋には、特に仁王地区にはお寺が多いので、お寺の和尚さん方にも協力していただいて、交通安全の呼びかけ運動などもしています。これは、日報や IBC 等でも「面白い活動だ」と取り上げていただきました。今は、「信号のない横断歩道で止まってください」という活動に、一生懸命に取り組んでいるところございます。以上でございます。

# 沢田自治協議会安心安全部会(福島県)

皆さん、こんにちは。沢田自治協議会安心安全部会長の近藤孝男と申します。安全で安心な地域づくりの活動について発表いたします。

写真は自治協議会各部会の会長さん及び副会長、理事の方々です。こうした方々で、沢田自治協議会を構成しております。

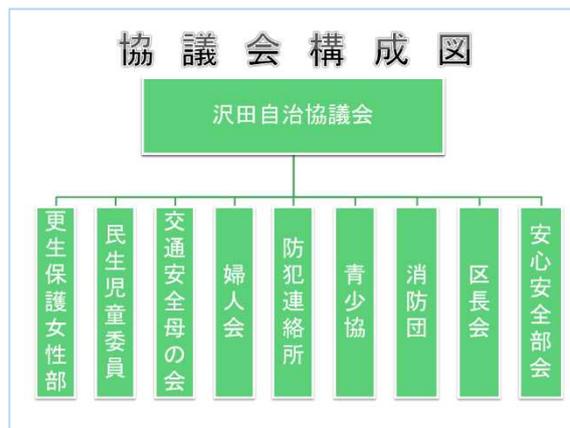
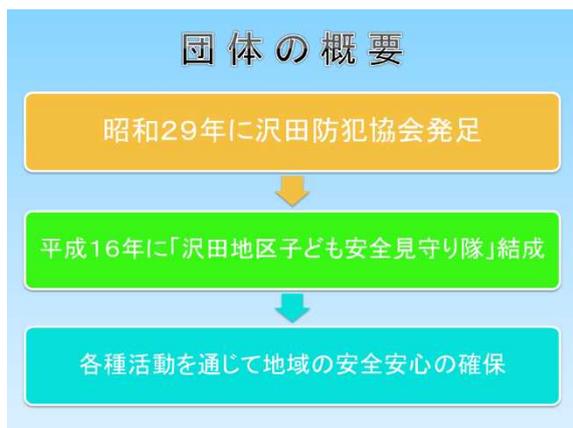


活動地域である沢田地区は、福島県中通り南部に位置する石川郡石川町の西部に所在し、日本の旅館百選などで有名な母畑温泉や、平安中期の女流家人、和泉式部の伝説が残る猫啼温泉と接する地域にあります。地区内の沢井八幡神社には、子宝と健康と発展を願って中秋の名月、8月15日に奉納された「波乗り兎」があります。そしてその台座には、江戸時代、12代将軍徳川家慶の世となる「天保十四年八月十五日 角田定右衛門」と刻まれております。今年うさぎ年ということもあり、訪れる方が多くなっております。



また、石の彫刻家、小林和乎氏は沢田出身です。昭和の戦前前後に福島県内で活躍した石像彫刻家として、地元石川町はじめ県内の神社仏閣に狛犬を奉納されております。石川のパンフレッ

トでも紹介されておりますので、後ほどご覧ください。



沢田自治協議会安心安全部会は、平成30年に石川町防犯協会沢田支部と石川地区安全協会沢田分会、交通安全母の会を統合し、役員を行政区長、消防団員、民生委員、学校関係者など多種多様な関係機関、団体から幅広く人選して、構成されております。長年にわたり、さまざまな活動を独自に計画・実施し、地域に有効な活動を活発に展開しています。令和4年からは9団体制で活動しておりますが、多いときは敬老会やシニア隊などを結成し、13団体で見守り活動を展開してまいりました。



長年の積極的な防犯活動が認められ、令和4年9月29日に東京の明治記念館で実施された全国地域安全運動中央大会において、功労ボランティア団体として表彰されました。

- ### 活動内容
- 1 「安全見守り隊」による防犯パトロール活動
  - 2 子供の見守り活動
  - 3 一戸一名一朝運動
  - 4 テント村作戦
  - 5 防犯・交通安全標語等の看板設置活動
  - 6 防犯及び交通安全対策

- 1 「安全見守り隊」による防犯パトロール活動

活動内容につきまして、項目ごとに説明していきます。

安全見守り隊による防犯パトロール活動。細かい内容については、後ほど説明いたします。当部会が主軸となり、区長会や消防団、婦人会など各団体に働きかけ、「安全見守り隊」を結成し、地区内パトロール活動の年間計画を策定して、地域に有効な活動を展開しております。

### 安全見守り隊出発式



### 防犯研修会



## 2 子供の見守り活動

安全見守り隊結成のきっかけとなったのは、近隣の栃木、茨城県で小学児童を巻き込んだ事件が発生したことです。当時、沢田中学校の校長先生から防犯協会へ、子ども見守り活動の依頼が来ました。そこで平成16年7月1日、同地区内の各種団体とともに、安全見守り隊を県内で初めて結成し、登下校時の子どもの安全と、地域住民の防犯意識を高揚させました。



写真は、沢田小学校5、6年生による防犯交通鼓笛パレードの様子であります。残念ながら、地元の沢田小学校は、令和4年3月31日をもって閉校となりました。またその前に、沢田中学校が平成27年に石川中学校へ統合され、廃校となってしまいました。

今はスクールバスや保護者の送迎など、通学方法は変化してまいりましたが、現在でも、登下校時間帯における子どもの見守り活動を継続的に実施しております。子どもがバスに乗るまでの間、見守り活動や送迎時の広報・啓発活動を推進しております。



### 3 一戸一名一朝運動

「一戸一名一朝運動」。交通安全協会に加入されている方は、4月にこうしたことが行われていることをご存じかと思えます。住民参加型の防犯・交通安全運動活動として、各種安全運動期間中、朝の通学時間帯に1戸につき1名が地区内の主要な横断歩道に立ち、見守り活動や交通安全活動を実施しております。



### 4 テント村作戦

テント村作戦。地区内を走る国道118号線と県道11号線において通過するおよそ100台のドライバーに対し、なりすまし詐欺被害防止等の防犯グッズや、交通安全を呼びかけるチラシ、交通事故ゼロ、交通事故「ナシ」を目標とした、地元石川町沢田産の「梨」を配布するキャンペーン活動を実施しております。



こちらが、各ドライバーに、安全母の会から啓発活動のチラシなどを配布している様子です。

このような形で、母の会を中心として、テント村作戦は活動しております。



## 5 防犯・交通安全標語等の 看板設置活動



地域住民の防犯・交通安全意識向上のため。小学児童を対象とした、防犯・交通安全標語コンクールを開催し、優秀作品を表彰した上、作品を記した看板を地区内に設置して、啓発活動を推進しております。



なお防犯の部、交通安全の部の最優秀作品は、沢田駐在所の県道側壁に、一回り大きい看板にして設置しております。

## 6 防犯及び交通安全対策

防犯及び交通安全対策として、年間を通じ、防犯及び交通安全対策の看板、のぼり旗、カーブミラーなどを設置し、地区内の安全安心を呼びかけています。

以上が項目に関する説明の内容の説明です。



## 活動頻度

### 活動内容

- 安全見守り隊によるパトロール活動  
→各団体10日間で3回以上実施、毎月15日
- 子供見守り活動  
→交通安全運動期間中毎日、毎月1日と15日
- 一戸一名一朝運動  
→交通安全運動期間中毎日
- 防犯・交通安全標語コンクールの開催及び表彰、看板設置活動  
→7月、8月実施
- テント村作戦→9月実施
- 年末年始事件・事故防止活動→12月実施
- 防犯及び交通安全対策→通年実施

続きまして、活動頻度について説明いたします。

安全見守り隊によるパトロール活動は、日程表に基づき、各団体に10日間の割当てがあります。その10日間で、3回以上の巡回を実施していただいております。なお、この巡回は、今月は、1日から10日が我々安全安心部会の担当でした。私もこちらに来る前に、地区内のパトロールをしました。

このパトロール方法ですが、各団体に10日間ずつの割当てではありますが、「何月何日に何時から何時までやってください」とは、我々からは一切言いません。やはり、皆さん、仕事がありま

すし、休みが合わないこともあります。なるべく、生徒・児童の通学時間帯にお願いできれば、ということですが、やはり、そこも無理強いはできません。そこまで無理強いすると、絶対にパトロールはできないのです。私もそうなのですが、時間の制約があると、やはり仕事優先になりますので、巡回できなくなります。ですから、「割当てられた中で、朝でも昼でも夕方でも、自分の時間の都合で地区内を巡回してください」とお願いしております。

子ども見守り活動は毎月1日と15日、そして交通安全運動期間中は毎日、実施しております。一戸一名一朝運動は、交通安全運動期間中、毎日実施しております。

防犯交通安全標語コンクールは小学校へ依頼し、沢田地区の児童へ夏休みの期間中の宿題として、学校を通じて募集しております。2学期初めにその宿題を回収し、私たちが後日審査会を行い、かつ、そこで優秀作品の選出をして、表彰及び看板を作り、各地区に設置しております。

テント村作戦は、9月に交通安全母の会を主体として実施しております。

年末年始の事件・事故防止活動も実施しております。こちらも国で定めている年末年始の事故防止に合わせて、活動を行っています。

その他、防犯及び交通安全対策は年間を通じ、のぼり旗との交換等を実施しております。

## 課 題

◎ 活動する隊員の確保

◎ コロナ禍における活動の停滞

## 課題の解決に向けた取組方策

◎ 行政区長、自治センター長、婦人会長、消防団長、交通安全母の会長  
民生児童委員方部長  
青少年健全育成推進協議会長  
長寿会長、ボランティア部会長等との連携した合同活動

◎ コロナウイルス感染症に対する感染防止対策の徹底

課題といたしまして、活動する隊員の確保、そしてコロナ禍における活動の停滞があります。

この課題解決に向けた取組方策として、隊員及び部会の役員確保については、安全見守り隊を結成している団体との連携した合同活動を通して、我々、安心安全部会、もしくは沢田自治協議会への加入をお願いしております。個人個人の、小さい婦人会などの団体には、中間管理職のよ

うな形でやってくるのですが、その1つ上の、我々の自治協議会に加入してくださいと言っても、難しい部分は確かにあります。しかし、この安全見守り隊を通して同じ活動をやっていただければよいと言うと、二つ返事ではないですが、何度か足を運ぶと、「分かりました。協力します」ということで、協力していただけます。

また、このウイルス感染症に対する感染防止策は、今はマスク着用も個人個人の判断に任せることになっておりますので、こうしたのも取り入れながら、活動していきたいと思っております。

最後に、「自らの町は自らが守る」との意識で、町の安全を見守り続けていきたいと思えます。

以上を持ちまして沢田安心安全部会の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。



## 講 評

**荒井** ご発表、ありがとうございました。1つ質問です。テント村作戦という名称ですが、なぜ「テント村」なのですか。

**発表者** すみません、私も交通出身ではないのでなんとも言えないのです。毎年9月頃、沢田は果樹農家が多いものですから、梨にかけて「事故ナシ」ということで、活動していることは聞いています。町の安全協会さんでも、場所は別ですが118号線沿いで「テント村作戦」という名称で活動しております。そのため、「では、それもそのまま、町であるのだから沢田地区でもやった方がよいのでは」というのが始まりではないかと私は聞いています。

**荒井** 先に「テント村」というものがあつたのですね。とてもユニークな取組だと思います。「テント村」と聞いて、今、流行りのキャンプのようなものかと思いながら、伺っていました。分かりました。

**発表者** もしかすると、道路沿いに雨風よけのテントを張って、そこでドライバーさんに注意を呼びかけるチラシ等の配布をしたからでは、と私は思います。

**荒井** 僕も今、そう思いました。ありがとうございます。それから、もう1つ質問です。沢田地区の世帯数はどのくらいですか。

**発表者** ただいま 480 世帯です。

**荒井** これは増えていますか、減っていますか。

**発表者** 減っています。

**荒井** 実は僕は栃木出身で、福島の方にもよく行くのです。棚倉や、北側の沢田に、僕はたぶん、行ったことがあるので、あの辺の様子分かるのですが、結構、厳しいですね。ですから、防犯ボランティアだけではなく、町おこしと言いますか、地域自体の活性化を含めて考えていかないと、やはり、人を集めるのはなかなか厳しいかもしれません。

**発表者** そうですね、高校、大学を卒業すると、どうしても都会に行ってしまいます。しかし、2、3年過ぎると戻ってくる方も7、8割いらっしゃいます。ですが、子どもの人数が少ないがために、小学校、中学校が統合され、閉校になってしまいました。やはり、昔のような世帯数、人口に戻すのは、少々無理があるのかもしれませんが。それでも、現状を維持できるように活動していけたらと思っております。

**荒井** 防犯ボランティアをやってくださる方を募集するのも大変だと思いますが、現実問題として、地域を守ることも、とても大変だと思います。そこをあまり分けずに、地域全体で何かをする、といった形にしないと、だんだん立ち行かなくなる地域が日本に増えていくのではないかと考えています。あまり防犯にこだわらずに、その地域の町おこしとして、いろいろなことを、いろいろな世代を巻き込んでやるほうが生産的なのではないかと、僕は思っています。

**発表者** そうですね。今日は、安心安全部会として発表させていただきましたが、沢田自治会にはいろいろな部門がありますので、そちらとの連携を図りながら活動していきたいと思えます。今、先生がおっしゃったように、地域おこしの部分もありますので、そちらも一緒に自治協議会として頑張っていきたいと、私は思っております。

**荒井** 他の団体さんもそうだと思いますが、町おこしをするなら「大変な防犯ボランティア」だけではなく、楽しい活動を。梨を配るのは、楽しそうだと思います。楽しみながらやれるような何かがあると、すごく活性化するのではないかと、そして、それが目玉になって、石川町からこちらに来てくれたらよいわけですね。そうした流れが作れると、町としてもよいのでは、という気がしました。

**発表者** はい。沢田自治協議会としては、10月に文化祭、沢田交流祭をしております。そこでは地産地消で地元のもの直売や、各種団体のイベントもあります。よさこいの練習をしている団体もあります。そうした発表会の場を作っておりますので、少しではありますが、交流ができていっているのではと思います。

**荒井** ありがとうございました。